

# 第34期

## 計算書類

〔 平成24年4月 1日から  
平成25年3月31日まで 〕

貸 借 対 照 表  
損 益 計 算 書  
個 別 注 記 表

浜銀ファイナンス株式会社

# 貸借対照表

(平成25年3月31日 現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>97,592</b>	<b>流動負債</b>	<b>71,707</b>
現金及び預金	8,274	支払手形	779
割賦債権	14,526	買掛金	3,643
リース債権	1,336	短期借入金	47,428
リース投資資産	60,341	1年内返済予定の長期借入金	8,810
貸貸料等未収入金	305	未払金	58
営業貸付金	2,814	未払費用	48
買取債権	9,432	未払法人税等	560
貯蔵品	38	貸貸料等前受金	468
前渡金	39	預り金	8,990
前払費用	150	前受収益	1
繰延税金資産	75	割賦未実現利益	841
未収収益	60	賞与引当金	69
未収入金	687	その他の流動負債	8
その他の流動資産	92		
貸倒引当金	△ 581		
<b>固定資産</b>	<b>6,644</b>	<b>固定負債</b>	<b>17,276</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,193</b>	長期借入金	16,910
貸貸資産	2,161	退職給付引当金	84
建物付属設備	0	その他の固定負債	281
什器備品	32		
<b>無形固定資産</b>	<b>507</b>	<b>負債合計</b>	<b>88,983</b>
貸貸資産	3	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	500	<b>株主資本</b>	<b>14,506</b>
電話加入権	2	資本金	200
		利益剰余金	14,306
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,943</b>	利益準備金	50
投資有価証券	3,253	その他利益剰余金	14,256
固定化営業債権	1,853	別途積立金	7,500
長期前払費用	1	繰越利益剰余金	6,756
繰延税金資産	146		
その他の投資	151	<b>評価・換算差額等</b>	<b>747</b>
貸倒引当金	△ 1,462	その他有価証券評価差額金	747
		<b>純資産合計</b>	<b>15,253</b>
<b>資産合計</b>	<b>104,236</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>104,236</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

# 損益計算書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		
リース売上高	25,258	
割賦売上高	7,950	
営業貸付収入	94	
代金回収収入	1,046	
ファクタリング収入	120	
その他の売上高	17	34,488
売上原価		
リース原価	22,529	
割賦原価	7,493	
資金原価	372	
代金回収原価	517	
その他の売上原価	0	30,912
売上総利益		3,576
販売費及び一般管理費		2,001
営業利益		1,575
営業外収益		
受取利息及び配当金	49	
貸倒引当金戻入益	497	
償却債権取立益	21	
その他	30	599
営業外費用		
支払利息	11	
その他	2	13
経常利益		2,160
税引前当期純利益		2,160
法人税、住民税及び事業税	555	
法人税等調整額	274	830
当期純利益		1,330

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法によっております。また、売却原価は移動平均法により算定しております。(評価差額は全部純資産直入法により処理しております。)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっております。

#### (2) デリバティブの評価基準及び評価方法

金利スワップ取引について特例処理を採用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

##### ①賃貸資産

リース期間を償却年数とし、リース期間満了時の処分見積額を残存価額とする定額法(リース期間定額法)を採用しております。

##### ②建物付属設備及び什器備品

定率法を採用しております。主な耐用年数は、4～6年であります。

#### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

### 3. 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、固定化営業債権については、債権額から回収が不能と認められる額を直接減額しており、その金額は304百万円であります。

#### (2) 賞与引当金

従業員に支給する賞与の支払いに備えるため、翌期支給見込額のうち当事業年度に帰属する額を計上しております。

#### (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における自己都合退職による要支給額を計上しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

#### (1) リース取引の処理方法

##### ①ファイナンス・リース取引に係る売上高及び売上原価の計上基準

リース契約期間に基づくリース契約上の収受すべき月当たりのリース料を基準として、その経過期間に対応する売上高および売上原価を計上しております。

##### ②オペレーティング・リース取引の売上高の計上基準

リース契約期間に基づくリース契約上の収受すべき月当たりのリース料を基準として、その経過期間に対応するリース料を計上しております。

#### (2) 割賦販売取引に係る売上高及び売上原価の計上基準

割賦販売取引は、商品の引渡時にその契約高の全額を割賦債権に計上し、支払期日到来の都度、割賦売上高およびそれに対応する割賦原価を計上しております。なお、期日未到来の割賦債権に対応する割賦未実現利益は、繰延処理しております。

#### (3) 金融費用の計上方法

金融費用は、営業収益に対応する金融費用とその他の金融費用を区分計上しております。その配分方法は、総資産を営業取引に基づく資産とその他の資産に区分し、その資産残高を基準として営業資産に対応する金融費用は資金原価として営業費用に、その他の資産に対応する金融費用を営業外費用に計上しております。なお、資金

原価は、営業資産にかかる金融費用からこれに対応する預金の受取利息を控除して計上しております。

## 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

### (1) ヘッジ会計の方法

#### ①ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用することとしております。

なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては、特例処理を採用しております。

#### ②ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段	ヘッジ対象
金利スワップ	借入金

#### ③ヘッジ方針

デリバティブ取引に関する権限規定を定めた内部規程に基づき、ヘッジ対象に係る金利変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。

#### ④ヘッジ有効性の評価方法

ヘッジの有効性の評価は、原則としてヘッジ開始時から有効性評価時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額等を基礎にして判断することとしております。なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては、有効性の評価を省略しております。

### (2) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としております。

## 会計方針の変更等に関する注記

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響は軽微であります。

## 貸借対照表に関する注記

### 1. 有形固定資産の減価償却累計額

貸貸資産	54,963 百万円
建物付属設備	0 百万円
什器備品	78 百万円
計	55,042 百万円

### 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	5,898 百万円
長期金銭債権	1 百万円
短期金銭債務	40,413 百万円
長期金銭債務	11,310 百万円

税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

① 流動の部

繰延税金資産	
未払事業税	42 百万円
賞与引当金	25 百万円
その他	13 百万円
繰延税金資産小計	81 百万円
評価性引当額	△0 百万円
繰延税金資産合計	80 百万円
繰延税金負債	
未収配当金	5 百万円
繰延税金負債合計	5 百万円
繰延税金資産の純額	75 百万円

② 固定の部

繰延税金資産	
貸倒引当金	540 百万円
有価証券償却	120 百万円
退職給付引当金	29 百万円
繰延税金資産小計	690 百万円
評価性引当額	△163 百万円
繰延税金資産合計	527 百万円
繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	380 百万円
繰延税金負債合計	380 百万円
繰延税金資産の純額	146 百万円

関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	(株) 横浜銀行	被所有 直接 49.0% 間接 20.4%	資金の借入	資金の借入	47,351	短期借入金	34,728
						1年内返済予定 の長期借入金	5,660
						長期借入金	11,310
				利息の支払	267	未払費用	18

(注) 取引条件および取引条件の決定方針等

1. 資金の借入の利率は、市場金利を勘案して合理的に決定しております。
2. 資金の借入にかかる取引金額は、期中平均残高を記載しております。

1 株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額 38,133 円 74 銭
2. 1株当たり当期純利益 3,325 円 58 銭